

- 1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

※今日の箇所からの学びに入る前に、今一度この時流れていた空気がどんなものであったかを確認しましょう。(53-57)そして12章に入って、イエス一行が再びベタニアに来られ、そこでマリアからの乳香を伴った礼拝と埋葬の準備を受けるのでした。そしてそれがきっかけでイスカリオテのユダがイエスを離れ、裏切りの道に走り出すことになるのでした。その家には死からよみがえったラザロと彼を見るために集まった人たちでごった返していました。そして多くの人々がラザロのことでイエス様を信じるようになっていたのです。

- 2、今日はその翌日のできことから始まっています「イエスのエルサレム入場」です。

・この情景を思い描いてみましょう。(12、13)

「なつめ椰子の枝」…喜びの日、祝いの日に用いられました。(レビ記 23:40)

「ホサナ」…「主よ、私たちを救ってください」の意味。(詩篇 118:25-27)

※ここには歴史的背景から来る願いというか希望が見えます。古くはエジプトの支配からの救い。バビロニアの支配からの救い。そしてBC200には、シリアの王がエルサレムの神殿で豚を捧げエルサレムの神殿を汚したのを祭司ユダ・マカベアという人が立ち上がり、神殿を奪還するに至った…そのように、私たちを(イスラエルを)ローマ(異邦の民)から救ってください…あなたならできる…今まさにその時だ…という意味合いがそれらの事柄から読み取れます。

・何を根拠にこの民たちはそう期待し、叫んだのでしょうか？(17.18)

- 3、イエス様はロバの子に乗って入場しました。それも預言されていたことでした。(ゼカリヤ 9:9)

これはキリストの十字架の500年ほど前に預言されていたことでした。さて、ロバに乗って入場されるキリストにはどういう意味合いがあると読み取れますか？

・来臨の時のキリストは何に乗って来られるとあるのでしょうか？(黙示録 19:11)

※(イザヤ 55:9)クリスチャンになっても神様のご計画や摂理を理解できないことは、不思議なことではありません。次元が違うからです。12弟子でもその時には理解できなかったのです(16)、あとになって理解できたというのです。私たちも、理解できないことに悩むことや落胆することはせず、信じること、探求すること、求めることを怠らなければ、神の高い計画や摂理を理解することができるようになるのです。

- 4、イエスを信じたくない人たちの反応は(19)

・あなたの言葉で彼らの様子を表現してみてください。

※(Iコリント 2:14)クリスチャンのあなたはそんな状態から救われたのです。まだ何か残っていますか？まだ名残りがありますか？それなら「聖め」を求め、取り去っていただきましょう。

- 5、今日の箇所を通して、神様(イエス様)はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？